

第 32 回 全日本自閉症支援者協会研究大会三重大会 開催要項

1. 大会テーマ 『我が事・丸ごとの地域づくりと自閉症支援』

【趣 旨】

公的支援のあり方を『縦割り』から『丸ごと』へと転換する改革が進められています。

“地域は、生活に身近であるから、住民同士が、日々の変化に気づき、寄り添いながら支え合うことができる。また、地域に暮らす他者が抱える生活上の課題は、現在又は将来の自分や家族の課題となり、暮らしやすい地域をつくることは自分の利益になる。このことが、『我が事』として地域づくりに参加するきっかけとなる。”というこの改革の大枠は、私たちの目指す方向性と軌を一にするといっていいいでしょう。

問題は、この方向を向いて、具体的に展開される内容であり、取り組みです。

「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現」として、2016年（平成28年）以降展開されてきた変革は、目に見えない特別なニーズのある自閉症の方たちにとってどういう意味を持っているのか、自己決定や身体的な健康管理の困難さ、二次障害や、強度行動障害を示す方たちへの支援など、今後、改革が展開されていく中で彼らにとって何が必要なのかを現場目線でとらえ、課題を明らかにし、今後必要な自閉症支援の在り方や制度について考えていきたいと思ひます。

2. 主 催 一般社団法人全日本自閉症支援者協会

3. 開催担当 全日本自閉症支援者協会 東海ブロック施設
あさけ学園、ワークセンターひのき、泰山寮、小原寮ワンダフルC棟
自由の杜、さつき学園、伊自良苑
主管施設 社会福祉法人おおすぎ れんげの里・城山れんげの里

4. 後援 三重県、津市、一般社団法人日本自閉症協会、三重県自閉症協会
公益財団法人日本知的障害福祉協会、三重県知的障害者福祉協会
一般社団法人日本発達障害ネットワーク、日本自閉症スペクトラム学会
発達障害者支援センター全国連絡協議会

5. 期 日 平成30年10月22日（月）～23日（火）

6. 会 場 アスト津 4階アストホール・会議室
〒514-0009 三重県津市羽所町700 電話 059-222-2525
ホテルグリーンパーク津 葵・橘の間、藤・萩の間
〒514-0009 三重県津市羽所町700 電話 059-213-2111
共に、津駅東口から徒歩約1分

7. 参加対象者 全日本自閉症支援者協会会員施設職員
知的障害者関係施設職員、家族（保護者）、その他関係機関職員

8. 定 員 250名（定員に達したら募集を終了しますのでご了承ください）

9.参加費	会 員		非会員	
	両日参加	8,000 円	両日参加	9,000 円
	1日のみ	5,000 円	1日のみ	6,000 円
	情報交換会	8,000 円 (会員・非会員とも)		

10.大会事務局 社会福祉法人おおすぎ 障害者支援施設れんげの里
〒519-2703 三重県度会郡大紀町滝原 1195-1
電話 0598-86-3911 Fax.0598-86-3322 E-mail rensan@osugi-welf.jp
担当：柳、前納（マエノ）

11.日 程

時 間		1日目(10月22日)	時 間		2日目(10月23日)
9:00		実行委員集合	9:00		受付開始
			9:30	120	シンポジウム「我が事・丸ごとの地域づくりと自閉症支援」 [話題提供] ・施設の立場から 佐藤 貴志 (札幌市自閉症者自立支援センターゆい) ・相談の立場から 藤平 俊幸 (地域福祉相談センターきざはし) ・家族の立場から 瀧本 恵子 (三重県自閉症協会) [指定討論] 加藤 永歳(厚生労働省) 市川 宏伸(日本自閉症協会) [司 会] 近藤 裕彦(あさけ学園)
			11:30	30	閉会式
12:00		受付開始	12:00	60	昼食・休憩
13:00	30	開会式 主催者あいさつ 来賓あいさつ	13:00	180	分科会 ・第1分科会 「自閉症者の地域社会での暮らしとその支援」 ・第2分科会 「自閉症者への意思決定支援の工夫について」 ・第3分科会 「自閉スペクトラム症の二次障害への理解と対応」 ・第4分科会 「身体的な変容が生じた自閉症者のニーズを考える」
13:30	60	基調講演「我が事丸ごとの地域作りと自閉症支援」～全自者協の今後の役割～ 全日本自閉症支援者協会 会長 松上 利男			
14:30	15	休 憩			
14:45	45	行政説明 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 発達障害対策専門官 加藤 永歳			
15:30	120	記念講演「自閉症の人の支援～中年期から老年期を中心に～」 大正大学心理社会学部臨床心理学科 教授 内山 登紀夫	16:00		終 了
17:30	10	連絡・案内			
18:40	120	情報交換会			

12. 大会概要

1日目(10月22日)

基調講演 13:30~14:30

「我が事丸ごとの地域作りと自閉症支援」～全自者協の今後の役割～
全日本自閉症支援者協会 会長 松上 利男

行政説明 14:45~15:30

加藤 永歳 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室

記念講演 15:30~17:30

テーマ「自閉症の人の支援～中年期から老年期を中心に～」
内山 登紀夫 大正大学心理社会学部臨床心理学科

2日目(10月23日)

シンポジウム 9:30~11:30

テーマ「我が事・丸ごとの地域づくりと自閉症支援」

- ・ 話題提供「施設の立場から」佐藤 貴志(札幌市自閉症者自立支援センターゆい、北海道)
「相談の立場から」藤平 俊幸(地域福祉相談センターきざはし、埼玉県)
「家族の立場から」瀧本 恵子(三重県自閉症協会、三重県)
- ・ 指定討論 加藤 永歳(厚生労働省)
市川 宏伸(日本自閉症協会)
- ・ 司 会 近藤 裕彦(あさけ学園、三重県)

分科会 13:00~16:00

第1分科会：テーマ「自閉症者の地域社会での暮らしとその支援」

担当施設：あさけ学園、ワークセンターひのき

【分科会趣旨】

誰もが住み慣れた地域で暮らしたいという思いを持っていても、受け入れてくれる場所が身近にない、通うところがあっても行動障害等が原因でうまくいかない、家庭でも調子を崩してしまう、あるいは高齢になって、地域での暮らしが困難になり、やむを得ず入所の場を希望される方も少なくありません。

国では「我が事・丸ごとの地域づくり」というスローガンが掲げられ、制度も整備されようとしていますが、実際に、さまざまな状況にある自閉症の人たちに『地域で暮らすこと』という当たり前の生活をどのように保障していけばいいのでしょうか。自閉症のある人も地域社会の一員として共に暮らすことができるよう、そのための支援をみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

- ・ 話題提供 『自閉症の人たちの地域生活をチームで支援していく』
天野 一雄(真砂園、兵庫県)
- ・ 話題提供 『自閉症のある高齢者の地域生活支援』
加納 弘章(あさけホーム、三重県)
- ・ 指定討論 和田 康宏(ひょうご発達障害者支援センタークローバー、兵庫県)
- ・ 司会進行 西野 公 (ワークセンターひのき、三重県)

第2分科会：テーマ「自閉症者への意思決定支援の工夫について」

担当施設：泰山寮、小原寮ワンダフルC棟

【分科会趣旨】

障害者の意思決定の支援に配慮することが、障害者基本法（2011年）や障害者総合支援法等に規定され、2017年3月に「障害者福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」が作成されたことは周知のとおりです。

この中で、『意思決定支援とは、障害者本人の意思が形成されるために、理解できる形での情報提供と経験や体験の機会の提供による「意思形成支援」、及び言葉のみならず様々な形で表出される意思を汲み取る「意思表出支援」を前提に、生活のあらゆる場面で本人の意思が最大限に反映された選択を支援することにより、保護の客体から権利の主体へと生き方の転換を図るための支援である』とされています。

意思決定支援については、それぞれの施設や事業所で実践していると思いますが、今一度、障害者権利条約の「わたしたちのことを、わたしたち抜きに決めないで」というスローガンの意味を認識し、支援の見直しを図ることが大切ではないでしょうか。

しかしながら、特別なニーズを持つ自閉症者にとって、障害特性上、幼少期から意思決定に繋がる経験の不足やコミュニケーションの困難性から、意思決定支援への展開が容易ではありません。地域共生社会の実現に向けて、私たちには、自閉症者の意思決定を地域の人にも支えてもらえるような支援を提供する役割があると考えます。そこで、本分科会では、各施設での意思決定支援の具体的な実践事例と意見交換を通じて、お互いの支援スキルの向上に繋いでいきたいと思っています。

- ・事例発表 『意思決定に向けた意思表出の整理と工夫』
八道 忠政（ひらきの里、山口県）
- ・事例発表 『意思決定支援における支援施設の見直しから』
梶原 香織（小原寮、愛知県）
- ・助言者 田口 道治（社会福祉法人あゆみ会、岐阜県）
- ・司会進行 森内 三恵子（小原寮、愛知県）

第3分科会：テーマ「自閉スペクトラム症の二次障害への理解と対応」

担当施設：さつき学園、自由の杜

【分科会趣旨】

自閉スペクトラム症（以下、自閉症と略）が抱える二次障害として多くの方がイメージするのは強度行動障害だと思います。単に“行動障害”という言葉で表してしまうと、表面的に現れる行動上の問題のみに着目した行動改善のアプローチや環境調整に終始し、その背景にある潜在的・根本的な問題が置き去りになってしまう事も少なくないように思われます。改善の困難なケースでは、強い薬物による副作用から三次的障害を抱えるという悪循環に陥ることも起こりうるのではないのでしょうか。自閉症者は生来繊細な感覚を持ち、社会性や他者との関係性、コミュニケーションに障害を持つがゆえに、愛着障害や双極性障害、PTSD、不安障害などの様々な二次障害を抱えやすく、それらが本人や家族の生き難さの主たる問題になっていたり、行動障害の要因のひとつになっている可能性が大いに考えられます。また、これらの問題は『我が事・丸ごと』の共生社会のテーマの中で、我々自身にも起こりうる問題として理解をしていく必要があると思われます。自閉症者が抱えやすい二次障害の理解を深め、施設や地域での適切な支援方法の構築に役立てられるよう、様々な視点から検討していきたいと思っています。

・基礎講義	『自閉スペクトラム症の二次障害について』	杉山 登志郎（児童精神科医）
・実践発表	『自閉症者の二次障害を防ぐ ～入所施設における健康ケアと学習療法を取り入れた実践から～』	佐原 大介、森 秀太郎（自由の杜、愛知県）
・実践発表	『自己実現 ～二次障害を抱えながら～』	霧生 弘長（袖ヶ浦ひかりの学園、千葉県）
・司会進行	小林 不二也（さつき学園、静岡県）	

第4分科会：テーマ「身体的な変容が生じた自閉症者のニーズを考える」
担当施設：伊自良苑

【分科会趣旨】

我々は、目に見えない特別なニーズを持つ自閉症の方たちを支えていく中で、障害特性の理解を踏まえた支援を通じて、夫々の成長発達を願いながら、自己実現を目指す支援を図っているところであります。しかしながら、人生において加齢に伴う心身の変容は否めない過程であり、時には、諸事情により本人の状態像の変化も生じ、その現実と直面しながら新たなニーズに即した対応が求められている事例も各地で聞かれます。

そこでこの分科会では、身体的な医療ケアを要する実践事例を取り上げ、各施設における現場実践を発表していただくと共に、医療部門担当者にも専門的な見地から発表・助言をいただきます。また、日本自閉症協会高齢期対策委員長でもある石井啓氏から、委員会における調査研究を踏まえた助言等をいただきながら、参加者のみなさんと一緒に、施設・事業所サービスを越えた他分野、他業種等との地域の繋がりや、本人らしい人生の支え方について考えたいと思います。

・実践発表	『支援員による喀痰吸引等、医療ケアが必要になった事例』	勝部 真一郎、小林 哲理（萩の杜、大阪府）
・実践発表	『嚥下機能が低下した方々の生活を支える実践事例』	河合 秋奈、上野 亜紀（伊自良苑、岐阜県）
・助言者	石井 啓（袖ヶ浦ひかりの学園、千葉県）	
・司会進行	林 信宏（伊自良苑、岐阜県）	

第32回全日本自閉症支援者協会研究大会三重大会 参加登録・宿泊・情報交換会・弁当のご案内

第32回全日本自閉症支援者協会研究大会三重大会が、三重県津市にて開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

皆様の参加登録・宿泊・情報交換会のご案内を弊社「名鉄観光サービス(株)津支店」が担当させていただくことになりました。社員一同万全の体制で準備いたす所存でございます。

皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

名鉄観光サービス(株)津支店
支店長 藁谷 真行

お申込み流れ

別紙、別紙「申込書」に必要事項をご記入いただき、~~9月19日(水)までに~~名鉄観光サービス(株)津支店へ、E-mail・FAX・郵送にてお申込みください。9月下旬より、順次、参加確認書、請求書及び必要書類をお送りいたします。お申込み後の変更は、申込書を修正のうえ、E-mail・FAX・郵送にてご連絡ください。

申込締め切り：9月19日(水)

当施設・事業所と利用契約されている利用者の保護者の方で、大会参加ご希望の方は、別途8月31日までに、あさけ学園事務所にお問い合わせください。

研修会参加登録

参加費：両日参加 会員：8,000円 非会員：9,000円
1日参加 会員：5,000円 非会員：6,000円

昼食弁当：10月23日(火) 1個：1,500円

情報交換会：10月22日(月) ホテルグリーンパーク津 18時40分 ~ 参加費：8,000円

宿泊のご案内

参加・宿泊・昼食弁当等申込書の宿泊欄に申込記号をご記入下さい。大会期間中の宿泊先を下記の通りご用意致しました。希望多数の場合は別ホテル・部屋タイプにさせて頂く場合がございます。本宿泊プランは弊社の旅行企画・実施する募集型企画旅行での設定になります。詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しますので、事前にご確認の上お申し込み下さい。

【宿泊設定日】平成30年10月21日(日)前泊、22(月)当泊、23日(火)後泊

ホテル名	申込記号	部屋タイプ	料金(円)/泊	アクセス
ホテルグリーンパーク津	S	シングル	9,500円	JR・近鉄津駅東口より徒歩1分 (情報交換会会場)
	T	ツイン	お一人様 9,000円	
三交イン津駅前		シングル	8,800円	津駅東口より徒歩1分 光明石温泉 四季乃湯(人工温泉大浴場)がございます。
ホテルエコノ津駅前		シングル	7,800円	津駅東口より徒歩3分 朝食はサービスの形態です(軽食)

大人お一人様 1泊朝食付(税・サービス料込)の宿泊代金

- 【申込方法】 参加・宿泊・昼食弁当等申込書の「宿泊」欄に上記の申込記号をご記入下さい。
- 【注意事項】 予約は先着順での受付とさせていただきます(予めご了承下さい)。
禁煙・喫煙部屋のご指定は、ご希望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。
会場にはクロークを設置する予定がございません。開始前にお荷物を各ホテルにお預けになると便利です。

昼食弁当(大会2日目)のご案内

大会会場でお召上がり頂けるお弁当をご用意しております。ご希望の方はお申込下さい。
期日:10月23日(火) 大会2日目 分科会場にて配布
料金:1,500円(幕の内弁当 お茶付き)

変更・取り消しについて

変更・取り消しは申込書の控えに内容を記入いただき必ず書面(FAX等)にてご連絡ください。
トラブル防止のため、電話での変更・取り消しは受け付けておりませんのでご了承ください。
変更・取り消しの連絡が名鉄観光サービス(株)津支店の営業日・営業時間外の通知の場合は次の営業日・時間に持ち越されますので予め、ご了承ください。
お客様のご都合でご予約を取り消される場合は以下の取消料を申し受けます。

(取消料)

取消日	21 日前	20～8 日前	7～2 日前	前日	当日	無連絡不参加
宿泊・交流会	無料	20%	30%	40%	50%	100%

個人情報取扱いについて

名鉄観光サービス株式会社は、お申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡や輸送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関及び手配代行者に提供いたします。また、主催者事務局様に提供いたします。それ以外の目的でご提供いただく個人情報は、利用いたしません。詳しくは弊社ホームページ(<http://www.mwt.co.jp/info/kojinjohogo.shtml>)をご覧ください。

ご旅行条件の要約

募集型企画旅行契約

宿泊は名鉄観光サービス(株)(愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目14-19 観光庁長官登録旅行業55号・以下「当社」という)が企画する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。また、契約の内容・条件とは各プランごとに記載されている条件のほか、下記条件出発前にお渡しする確定書面及び当社募集型企画旅行契約の部によります。

旅行の申し込み及び契約成立

所定の申込書に必要事項を記入の上、FAX又は郵送にてお申し込み下さい。また指定の期日までに代金をお振込み下さい。本大会は組織募集であり、主催者が確定しているため、旅行契約はお申込金なしであっても、お申し込み書面を頂いた時点で成立するものとします。

旅行代金に含まれるもの

各プランの旅行日程に明示された宿泊費、特別補償および消費税が含まれます。なお、行程に含まれない交通費等諸費用および個人的費用は含みません。

旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は平成30年7月12日を基準としています。旅行代金は平成30年7月12日現在有効な運賃・規則を基準としております。

お問合せ・申込書送付先

名鉄観光サービス株式会社 津支店 「全日本自閉症支援者協会研究大会三重大会」係

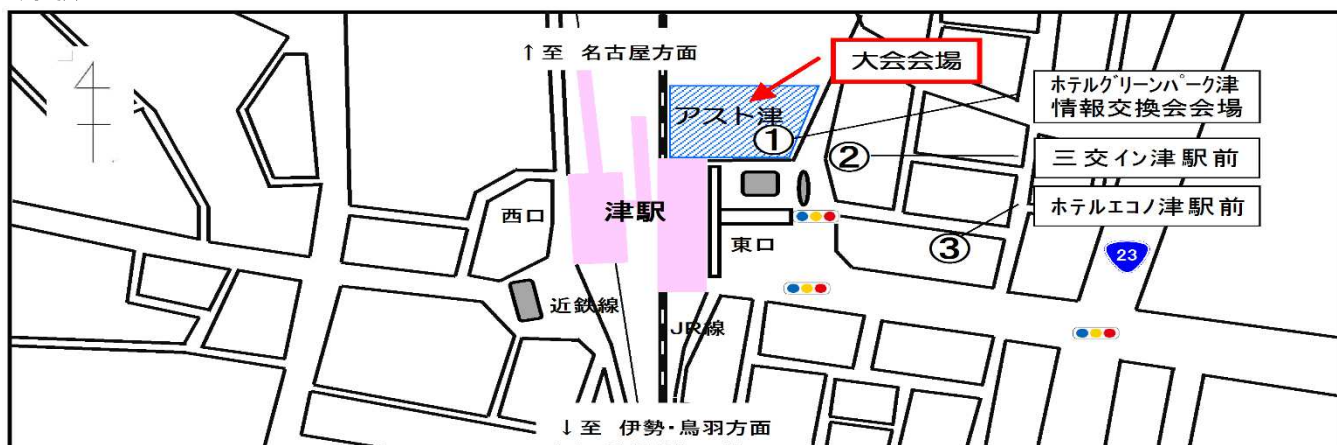
〒514-0004三重県津市栄町3丁目141-1 モアビル5階 営業時間9:00～17:00(土・日・祝日休)

TEL:059-225-7676、FAX:059-225-7633、E-mail:zenjisyakyo.mie@mwt.co.jp

担当: 鉦田(おのだ)・穂積(ほづみ)・高橋(たかはし)

【大会会場・宿泊設定ホテル MAP】

【津駅】

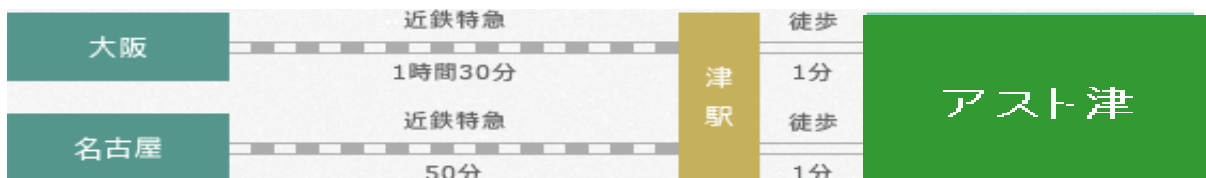


お車でお越しの場合



電車でお越しの場合

「津駅」は近鉄・JRの総合駅となっております(改札を共通で利用)。名古屋からお越しの際はどちらを利用頂いても大丈夫ですが、列車の本数の多い近鉄のご利用が便利です。名古屋からの所要時間は、特急(指定席)で50分前後、急行で70分前後です。



航空機でお越しの場合



駐車場のご案内

施設	駐車場名	料金
アスト津	市営アスト駐車場	6時間まで30分・100円、6時間以上30分・50円 ただし、1営業日にかかる上限額は1,800円
	津駅前パーキング	100円/30分、9:00~21:00 5時間以上で1,000円、21:00~9:00 4時間以上で800円
ホテルグリーンパーク津	名鉄協商パーキング 津駅北	100円/30分(9-21時)、100円/1時間(21-9時)、1日(24時間)900円
三交イン津駅前	ホテル駐車場	5台(有料・先着順・途中出庫不可)1泊1,200円 満車の際は、近隣の有料駐車場をご案内
	三交の駐 ing 津駅前	100円/30分(全日)、1日(24時間)900円
ホテルエコノ津駅前	ホテル駐車場	有り 20台 1泊520円 先着順 出し入れ不可、予約不可

『第32回全日本自閉症支援者協会研究大会三重大会』参加申込書

申込日 平成30年 月 日

お申込締切日:平成30年9月19日(水) 【送付先】FAX:059-225-7633(名鉄観光サービス㈱ 津支店 宛)

都道府県名	フリガナ	フリガナ
	所属先 勤務先	申し込み代表者
ご住所 (参加券送付先)	〒	自宅 勤務先 該当にチェック✓
		TEL () -
		FAX () -
		携帯電話 () -

	フリガナ	性別	参加区分	大会参加費 注)			10/23希望分科会		情報交換会	宿泊			喫煙・禁煙	昼食弁当	小計	備考 同室希望者など	
				両日参加 10/22(月) 10/23(火)	1日参加 10/22(月)	1日参加 10/23(火)	第1希望	第2希望		10/22(月)	第1希望	第2希望					10/21 (日)
例	ミエ タロウ 三重 太郎	男 女 50歳	会員 非会員	8,000円	円	円			8,000円	S		円	9,500円	円	1,500円	27,000円	
1		男 女 歳	会員 非会員	両日参加 円	1日参加 円	1日参加 円				記号	記号						
2		男 女 歳	会員 非会員	両日参加 円	1日参加 円	1日参加 円				記号	記号						
3		男 女 歳	会員 非会員	両日参加 円	1日参加 円	1日参加 円				記号	記号						
4		男 女 歳	会員 非会員	両日参加 円	1日参加 円	1日参加 円				記号	記号						
5		男 女 歳	会員 非会員	両日参加 円	1日参加 円	1日参加 円				記号	記号						

注)参加費:両日参加 会員:8,000円 非会員:9,000円、1日参加 会員:5,000円 非会員:6,000円
 ・喫煙・禁煙のご希望については、できる限り配慮いたしますが、ご希望に添えない場合もございます。予めご了承下さい。
 ・個人情報については、参加者との連絡調整、参加者名簿の作成等、本大会事業の目的以外で使用することはありません。

合計
円

通信欄	お申込・お問合せ 名鉄観光サービス株式会社 津支店 〒514-0004 三重県津市栄町3丁目141-1 モアビル5階 電話 059-225-7676 FAX 059-225-7633 担当: 鉦田(おのだ)、穂積、高橋 E-mail: zenjisyakyo.mie@mw.t.co.jp		
金融機関名	銀行	支店	名鉄観光記入欄
口座番号(普通、当座)	口座名義		受付日
			入金日
			受付
			発送日